

県立瀬谷高等学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	県立瀬谷高等学校 平成29年度 第2回学校運営協議会
開催日時	平成29年10月27日(金) 15時30分～16時30分
開催場所	県立瀬谷高等学校 応接室
出席者	<p>[役職名]</p> <p>[会長] 渋谷 京 本校PTA会長(保護者)</p> <p>[委員] 小野栄一 前瀬谷第4地区連合自治会長(地域)</p> <p style="padding-left: 2em;">中岡正廣 鎌倉女子大学大学教授(地域、有識者)</p> <p style="padding-left: 2em;">中村啓文 横浜リハビリテーション専門学校理学療法科長(有識者)</p> <p style="padding-left: 2em;">岩崎彰夫 本校校長</p> <p>[事務局] 伊藤敬(本校副校長)、宮島和彦(本校教頭)</p>
審議(会議)経過	<p>1 学校長挨拶</p> <p>2 協議</p> <p>(1) 学校評価部会報告</p> <p style="padding-left: 2em;">○資料に基づいて報告</p> <p>(2) 学力向上をめざす授業について</p> <p style="padding-left: 2em;">○会議に先立つ6校時の授業を見学後、意見集約</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学のグループワークを初めて見た。生徒が主体的に取り組んでいて、とても良かった。 ・欠席も少なく生徒もまじめな印象を持った。授業にも参加しているように見えるが、先生の独演会になっていないか、常に検証していくとよい。 ・1・2年生に比べると、3年生が集中力を欠いているように見えた。学習力のばらつきへの対応としても、集団を分けた意識付けも必要かもしれない。 ・ペアワークやグループワークをしたからアクティブラーニングとは言えない。何をもちアクティブラーニングと言うのか、瀬谷高校のアクティブラーニングはこれだ、といった共通理解が不可欠であろう。 ・良い授業とは何なのか、深く考える必要がある。英語に関して、大学受験があるからとプリントの穴埋めのような授業に陥っていないか、個人としても組織としてもしっかりとした振り返りがあるとよい。 ・授業や教育の効果とは何をもち測るべきなのか、難しい問題である。上級学校進学率だけではないであろう。瀬谷高校の生徒は先生方が手をかけて育てられていて、本学に入学する生徒は非常に伸びている。そういった観点もあるだろう。
会議資料	<p>1 時間割表</p> <p>2 平成29年度学校運営協議会構成員及び会議の日程について</p> <p>3 学校要覧(平成29年度)</p> <p>4 学校案内(平成29年度)</p> <p>5 学校評価部会議事録</p> <p>6 生徒による授業評価結果報告</p> <p>7 カリキュラム・マネジメントについて</p>
次回開催予定日	平成30年3月上旬
問合せ先	<p>県立瀬谷高等学校 副校長 伊藤 敬</p> <p>電話番号 045-301-6747</p> <p>ファックス番号 045-304-2955</p>

